ショーン・ペン監督作品

# クロッシング・ガード

監督×脚本:ショーン・ペン
撮影:ヴィルモス・ジグモンド
出演:ジャック・ニコルソン
デヴィッド・モース
アンジェリカ・ヒューストン
ロビン・ライト
メインテーマ:ブルース・スプリングスティーン
「MISSING」

## 魂の決着まで、あと3日。

ひとりは憎悪を胸に、
ひとりは償いを胸に、
運命の交差点で
男たちは向かいあう。

MIRAMAX INTERNATIONAL PRESENTS JACK NICHOLSON "THE CROSSING GUARD" STARRING DAVID MORSE ROBIN WRIGHT AND ANJELICA HUSTON
COSTUME DESIGNER JILL OHANNESON MUSIC BY JACK NITZSCHE EDITED BY JAY CASSIDY PRODUCTION DESIGNER MICHAEL HALLER DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY VILMOS ZSIGMOND, A.S.C.
EXECUTIVE PRODUCERS BOB WEINSTEIN HARVEY WEINSTEIN RICHARD N. GLADSTEIN PRODUCED BY DAVID S. HAMBURGER & SEAN PENN WRITTEN AND DIRECTED BY SEAN PENN

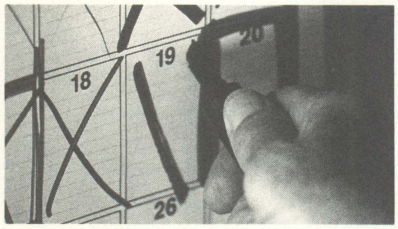
DOLBY | READ THE MIRAMAX BOOK | FEATURING "MISSING" BY BRUCE SPRINGSTEEN

1995 Miramax Film Corp. All rights reserved

MIRAMAX INTERNATIONAL 配給 東北新社

小説版「クロッシング・ガード」角川文庫刊

# 愛すること、憎むこと、そして赦すこと。
# 人間への信頼をとりもどせる予感に胸がふるえる
# 感動のドラマ……。



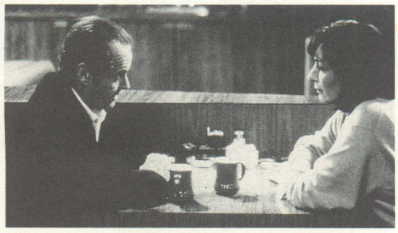
**娘を失った父親、その罪を負った男。**
**過去と決別するために二人は**
**「その日」向かい合う。**

小さな女の子が交通事故で命を落とした。

事故を起こした男は刑期を終えて6年目のその日、出所する。心の傷は深く刻まれたままだが、両親や友人に暖かく迎えられ新たな人生を踏み出すはずだった。

娘を失った父親は絶望から立ち直れずにいた。現実から目を背けつづける彼を許せず、妻は息子を連れて彼のもとを去っている。場末のストリップ・バーに入り浸り、自暴自棄の生活を送っている彼を支えてきたのは、ある決意だけだ。彼からすべてを奪った男を自らの手で裁くこと——。

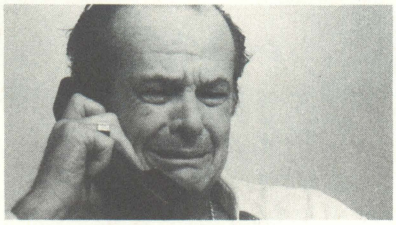
カレンダーに×印をつけて待ちつづけたその夜、父親は銃を手にする。二人は向かい合わなくてはならない。魂の決着をつけるために。



**ブコウスキーに捧げられた人間ドラマ。**
**自分を許し、他人を認めるまでの心の闘い。**

演技力には定評のあった俳優ペンが『インディアン・ランナー』で監督デビューしたのは91年。一時は役者引退宣言で周囲をあわてさせたが、『カリートの道』『デッドマン・ウォーキング』に出演。後者で96年のベルリン映画祭主演男優賞を獲得したばかり。その才能は映画界になくてはならないものと、ますます注目される逸材だ。

『クロッシング・ガード』は待望の監督第2作。タイトルを直訳すると「交通安全指導員」。交通量の多い横断歩道では道を渡る人々を誘導する係がいるが、人が生きていくその道に導き手は存在しない。答えを出さなくてはならないのはいつも本人だ。「ひとりの人間が生き続けるために、いかに模索していくかを描いたものだ」とペンは作品を語る。エンド・ロールで示されるようにこの作品は人間の葛藤を見つめ続けた作家で、ペンとも親交が深かった故H.C.ブコウスキーに捧げられている。



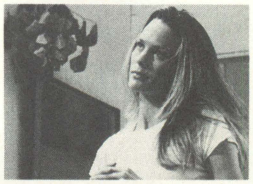
**破滅から6年、**
**二人の対決が迎える決定的な瞬間。**
**冷えきった心に訪れる夜明け。**

娘を失った現実を受け入れられない父親、フレディ役にはジャック・ニコルソン。脚本を気に入って出演を快諾したというニコルソンは、追い詰められた人間の狂気と同時に、男の弱さ、情けなさを色気をもって演じている。事故を起こし罪を背負った男、ジョン役には『インディアン・ランナー』のデヴィッド・モース。フレディの別れた妻、メアリーにはアンジェリカ・ヒューストン(『アダムス・ファミリー』)。かつて実生活でもパートナーだったニコルソンに伍して、女のりりしさを見せる。ジョンの苦しみを受けとめる恋人にはロビン・ライト(『フォレスト・ガンプ』)。もと「ザ・バンド」のカリスマ的存在、ロビー・ロバートソンや演技派ジョン・サヴェージなどの渋い存在感も魅力だ。撮影には『未知との遭遇』『ディア・ハンター』など数々の名作を手掛けているヴィルモス・ジグモンドがあたっている。メインテーマ"MISSING"はブルース・スプリングスティーンが盟友、ペンのために書き下ろした。

ラスト10分。ひとことの台詞もないまま、男たちの心の格闘を見せつけて映画のテンションは一気に高まる。かけがえのないものを喪い、傷を負って、人は人生の交差点に立ち尽くす。そこから一歩を踏み出そうとする、すべての傷んだ魂のために、この物語の決着は心に小さな灯をともしてくれる。

●

1995年/アメリカ作品/カラー/ビスタサイズ
ドルビー・ステレオ・デジタル
1時間41分



**観客は打ちのめされる。**
**赦しへと至る感動的で気高い眼差しに。**
**【ニューヨーク・タイムズ 1995.11.15】**

# クロッシング・ガード

## 12月14日(土)より(12月27日(金)マデ)待望のロードショー!

● 特別ご鑑賞券¥1,400 (当日一般¥1,800/大・高¥1,500) 発売中!

※劇場窓口でお買い求めの方には、特製ポストカードをプレゼント(限定)

※劇場窓口、阪急、阪神、東映、エストI各PG、チケットセゾン、チケットぴあ、関西プレイガイド協会にてお求め下さい。

| 上映時間 | 10:30 | 12:40 | 2:50 | 5:00 | 7:10 |
|---|---|---|---|---|---|

梅田ロフトB1 06(359)1080
テアトル梅田2